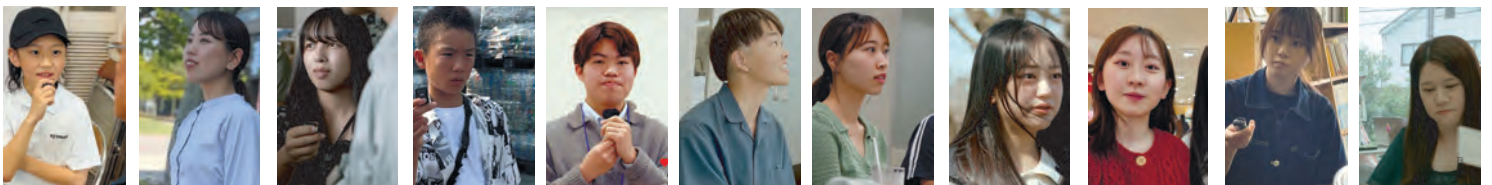


地球温暖化は、
未来を生きていく
私たち自身の問題

Shiga CO₂ Net Zero Ambassador Report 2025

しが CO₂ ネットゼロアンバサダーによるショートドラマ（出演者）



しが CO₂ ネットゼロアンバサダー 20 名が、滋賀県の企業の CO₂ 排出削減の取り組みを伝えるために集まり、企画から出演まで力を合わせて取り組みました。

未来のために
今、私たちにできることから

県民・事業者等多様な主体と連携して取り組む「しがCO₂ネットゼロムーブメント」 次世代リポータームーブメント情報発信とは

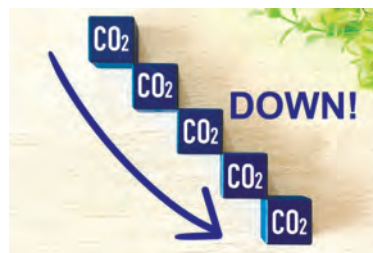
滋賀県では、2050年までにCO₂排出量を実質ゼロにすることを目標に「しがCO₂ネットゼロムーブメント」を展開しています。

そこで、次世代の力で情報発信を行う「次世代リポータームーブメント情報発信」を実施しています。

環境問題やコンテンツづくりに興味を持ち、滋賀県に思い入れのある若者を「しがCO₂ネットゼロアンバサダー」に任命し、アンバサダーがリポーターとしてCO₂ネットゼロに取り組む県内の企業等に取材に行き、SNSやゼロナビしがで発信する取り組みです。

CO₂ネットゼロとは

CO₂などの温室効果ガスの
人為的な排出を減らし、森林などの
吸収源を確保することでCO₂の
排出量と吸収量の均衡を図ること。



滋賀県でも、猛暑やゲリラ豪雨など、地球温暖化の影響とみられる気候変動が増えています。

こうしたリスクを減らすには、原因であるCO₂などの温室効果ガスを減らし、排出量と吸収量をほぼ同じにする「CO₂ネットゼロ」を目指すことが重要です。

滋賀県は、2050年までにCO₂ネットゼロの達成を目標に掲げ、その取り組みを通じて、暮らしの豊かさや地域・経済の持続的な発展を目指しています。



このままCO₂が増えると…

- ◎気温上昇、災害、生態系の変化、水・食料の不足、社会・経済への影響、健康への影響
- ◎地球や私たちの暮らしがピンチ！
- ◎琵琶湖にも危機が！？
- ◎気温上昇により琵琶湖の水の循環が止まり、湖底の酸素が足りずに魚が死んでしまう事象が起きています。

1 初顔合わせ



しがCO₂ネットゼロアンバサダーの初顔合わせを実施しました。スケジュールが合わないメンバーは、オンラインで参加。当日は、CO₂ネットゼロに関する基礎知識を学びながら、それぞれの考えや想いを共有しました。

2 役割分担



3 企業取材

企業訪問では、工場見学が初めての参加者も多く、普段は見ることのできない現場や、貴重なお話を直接聞くことができました。

企画・出演など、それぞれが希望するポジションで参加。こうした活動や動画制作が初めてのメンバーも多い中、参加者同士で相談しながら、楽しんで撮影を行いました。

滋賀のあちこちを巡りました。

4 ロケ撮影

企業の紹介だけでなく、環境問題についても滋賀県内の現状を調べ、撮影を行いました。また、自分たちが好きな滋賀のロケーションにも足を運び、撮影しました。

撮影は突然始まることも。セリフもみんなで話し合っていました。

5 動画公開

作成した動画は、しがCO₂ネットゼロムーブメントのアカウントで公開。地域の方から様々な感想や応援をいただきました。



Shiga CO₂ Net Zero Ambassador

01 02 「未来からのメッセージ」



CO₂削減の対策をしないまま進むと
2050年の滋賀の未来はどうなっている？



【ストーリー】ある日、滋賀県庁を見学していると、なぜか外に出られなくなりまして。その後、「本日の最高気温は50度に達しました」と緊急放送が流れます。「こちらに来てください」と呼ぶ声の先は、CO₂ネットゼロ推進課でした。そこで知らされたのは、今いる場所が“2050年の滋賀県庁”だという事実。そして現代に戻り「しがCO₂ネットゼロアンバサダー」として、地球温暖化を食い止める使命を託されるのでした。

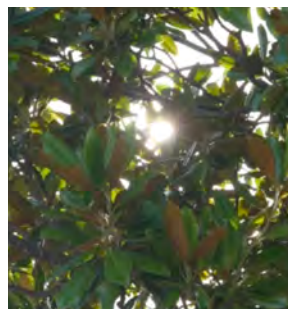
POINT

滋賀県は2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにする「CO₂ネットゼロ」を目指し、再生可能エネルギー拡大や省エネ、森林保全などを推進しています。

03 「スタート宣言」



地球温暖化は、もう始まっている。
未来のために、今できることを。



【ストーリー】地球温暖化の主な原因は、CO₂の増加です。

しがCO₂ネットゼロアンバサダーは、大学生・小中学生・社会人など、ここで初めて出会ったメンバーで構成されています。それぞれの立場を越えて力を合わせ、滋賀県内の温暖化の現状や、CO₂ネットゼロに向けた取り組みを発信していきます。

POINT

しがCO₂ネットゼロアンバサダーとは、滋賀県の「CO₂ネットゼロ（CO₂排出量実質ゼロ）」に向けてCO₂削減に取り組む滋賀県の企業等取材し、発信する活動です。

Interview

Shiga CO₂ Net Zero Ambassador

04 「琵琶湖の魚が減っている？」（沖島漁業協同組合）



琵琶湖の漁獲量は長期的に減少傾向。「昔よりかなり少ない状態」が続いている。



【ストーリー】アンバサダーは、琵琶湖で「琵琶湖の魚が減っている」という未来からのメッセージを受け取ります。その真相を確かめるため、沖島へ向かい、琵琶湖で漁をしている漁師に話を聞きました。そこで分かったのは、地球温暖化の影響が、琵琶湖にも確実に現れているということでした。

POINT

魚は減っている＝生態系が変わっているサイン。温暖化による水温上昇など、様々な原因が重なっているためだと考えられています。

05 「それ、ほんとうにゴミ？」（株式会社木下カンセー）



ゴミを圧縮すれば運ぶ回数が減り、燃料も減る。リサイクルすれば、CO₂も減らせる。



【ストーリー】琵琶湖のゴミ問題に悩んでいたアンバサダーは、「それ、本当にゴミ？」という未来からのメッセージを受け取ります。その意味を探るため、ゴミ処理を行う株式会社木下カンセーの草津リサイクルセンター取材しました。

そこで分かったのは、ゴミの分別の大切さ。さらに、ゴミを圧縮することで運搬回数を減らし、CO₂削減につながっているという事実でした。

POINT

草津リサイクルセンターでは、AIロボットを含めたペットボトルの半自動選別ラインの導入により、安全性と効率性を高めCO₂排出量を削減しています。

Interview

Shiga CO₂ Net Zero Ambassador

06 「未来の車を探して」（しが CO₂ ネットゼロフェスタ 2025）



水素自動車は、水素で走る
CO₂排出ゼロの次世代のエコカー。



【ストーリー】アンバサダーは、「未来の車を探して」という未来からのメッセージを受け取ります。そこで、2025年8月31日（日）に開催された「しが CO₂ ネットゼロフェスタ 2025」を訪れました。会場では、トヨタモビリティパーツ株式会社滋賀支社が出展するブースで、水素自動車の仕組みを学び、排気ガスを出さないクリーンな車であることを知ります。

POINT

トヨタ自動車の水素自動車とは、水素を燃料として走り、CO₂をほとんど出さない車です。しが CO₂ ネットゼロフェスタは、CO₂ ネットゼロについて楽しみながら学べるイベントです。

07 「地球温暖化は、この先どうなるんだろう」（えふえむ草津）



ここから発信することで、
伝えられること。



【ストーリー】ラジオ局のえふえむ草津は、草津市の「くさつゼロカーボンアクション」の配信等を通じ、地球温暖化の啓発に取り組んでいます。アンバサダーはラジオ番組に出演し、自身の取材体験と地球温暖化について発信。「自分たちにできることはないか、こうして伝えることも何かにつながるかもしれない」と語りました。

POINT

えふえむ草津は、滋賀県草津市を中心に地元のイベント、ニュース、防災情報、さらには「くさつゼロカーボンアクション」のような市政情報などを放送しています。

interview

Shiga CO₂ Net Zero Ambassador

08 「水を汚さない工場」(新旭電子工業株式会社)



製造工程と併せて様々な取り組みを実践。
人にも地球にも優しい工場。



【ストーリー】アンバサダーは、「水を汚さない工場」という未来からのメッセージを受け取り、新旭電子工業株式会社を訪れました。そこでは、電力の使い方を工夫したり、熱を再利用する仕組みを導入したり、排水の基準を厳しくするなど、地球にも人にもやさしいものづくりが行われていることを学びました。

POINT

基板製造では、両面同時にインクコートと熱乾燥が可能な生産ラインを導入し、生産性の向上と電気消費量半減。工程作業人員を削減、省エネ・省人化、再エネやLED化など多面的にCO₂削減を推進しています。

09 「地球温暖化は農業にも影響」(農家取材)



地球温暖化は農業にも影響を及ぼしている。
今、感じられる変化とは。



【ストーリー】アンバサダーは、最近の野菜価格の高騰の理由を探るため、滋賀県で農業を営む寺下さんを訪ねました。

話を聞くと、地球温暖化の影響で農地に変化が起きていることが分かります。草が増え、畑では虫が減少し、ひまわりさえ育ちにくい状況に。さらに、畑を荒らすイノシシが近くに出没するなど、深刻な影響が広がっていました。

POINT

地球温暖化による気候変動で高温や異常気象が増え、収穫量や品質が低下し、病害虫の増加や水管理の難化、産地の変化等が起きています。

Interview

Shiga CO₂ Net Zero Ambassador

10 「鹿が増えた理由とは」(伊吹山)



伊吹山の土砂崩れの原因の一つが、温暖化により増えた鹿。



【ストーリー】近年、伊吹山では土砂崩れが発生しています。その原因の一つが、鹿の増加です。鹿が増えた背景には、地球温暖化も関係しています。暖冬により冬を越せる鹿が増え、山頂付近の草木を食べ尽くしてしまいました。その結果、地面を支える植物が減り、土砂崩れが起こりやすくなっているのです。現在、伊吹山は様々な対策により改善に向かっていきます。

POINT 鹿が増えることで植物が減ると、山の保水力が低下して土砂崩れが発生しやすくなります。

11 「スーパーでも CO₂削減」(株式会社平和堂)



プラスチックトレーを包装フィルムへ。トレーの回収・「てまえどり」推奨等、地域みんなで CO₂削減。



【ストーリー】スーパーの平和堂では、CO₂削減につながる様々な取り組みが行われています。野菜等の包装に使うプラスチックトレーを減らし、包装フィルムに切り替えることで使用量を削減。また、売り場ではおつとめ品の販売や「てまえどり」の呼びかけを行い、食品ロスの削減にも取り組んでいます。さらに、使用済み食品トレーを回収し、再利用へとつなげています。

POINT 平和堂は 2024 年度に、2013 年度比で約 30%の CO₂排出量削減を達成しています。

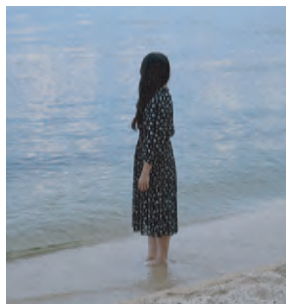
Interview

Shiga CO₂ Net Zero Ambassador

12 「アンバサダー卒業」



CO₂ネットゼロを、自分ごとに。
地球温暖化は、未来を生きる私たち自身の問題。



【ストーリー】アンバサダーとしての活動も、いよいよ卒業です。ここで学んだのは、みんなで力を合わせて取り組むことの大切さ。そして、自分たちにできることを考え、CO₂削減を“自分ごと”として捉えること。さらに、行動を続けていくことが何より重要だと、仲間とともに気づきました。

POINT

「温暖化対策を何もしなかった 2050 年の未来」からのメッセージを受け取ったアンバサダーは、CO₂ネットゼロに取り組む企業について発信することで、CO₂ネットゼロムーブメントを広げました。

しがCO₂ネットゼロアンバサダーとして 活動した感想は？



大学生
金森 美幸さん

取材を通して、滋賀の企業が琵琶湖を守るために環境問題へ真剣に取り組んでいる姿勢に感心しました。実際の声を聞くことで理解が深まり、この経験はとても貴重だと感じました。



会社員
木戸 晴佳さん

小学生の頃からCO₂問題は知っていましたが、今も増え続けていることに不安を感じています。CO₂削減は思っているより身近なことからできるので、個人や企業、全員で取り組んでいきたい。



大学生
山口 大晴さん

自分一人ではできない活動でした。滋賀の温かい県民性が好きです。滋賀県が、日本の環境問題解決に向けたムーブメントのきっかけになればいいと思います。



小学生
吉田 はるまさん

将来、水族館の館長になるのが夢なので、魚について学べてよかったです。琵琶湖をきれいに保つために、ゴミを捨てずに分別し、砂浜のゴミ拾いにも取り組みたいです。



中学生
なぎさん

CO₂が増えていることは知っていましたが、詳しくは知りませんでした。説明を受けて理解が深まり、琵琶湖を生かした安全なエネルギー開発に力を入れてほしいと感じました。



中学生
栗山 航太郎さん

瀬田川でカヌーをしており、月に一度ゴミ拾いをしています。取材を通してゴミの分別の大切さを知り、圧縮することでCO₂削減につながると知って驚きました。

取材を通して、県内の取り組みを知ることができました。

環境対策は企業にとってやりがいのある取り組みだと分かり、発信への反響から多くの人が関心を持っていることも実感できて良かったです。

初めての撮影は貴重な経験でしたが、緊張して思いをうまく伝えられず、言葉にする難しさを感じました。

ミーティングはオンラインで参加しましたが、環境問題に関心を持つ同世代や、同じ目標に向かう仲間と出会えたことがとても良かったです。

ほとんどの項目について満足だが、企画をもっと練りたかった。

なかなかの機会に参加させていただき、貴重な経験をさせていただきました。

その他の感想

環境を大切にしたいと感じてもらえるように、滋賀県の美しさを通して伝えたいと思いました。

次は、CO₂削減に関連するイベントと連携した企画などを作り、参加してみたいです。

ゴミの分別や食べられる量だけ作るなど毎日のほんの些細なことかもしれないですが、それがCO₂削減に繋がって未来の私たちがより良いものになるのではないかなと考えました。まずは家族や友達など無理のない範囲でコツコツとこの活動を通して学んだことを生かすことができるように頑張ります。

沢山勉強させていただいて参加して良かったです。もう少し SNS で発信・知れるメリットを具体的にしていくと、アンバサダーの投稿を目にした人も知ったり感じたり行動したりしやすくなるかなと思います。アンバサダーを経験させて頂きありがとうございました。

若い世代だからこそ伝えられるものだったり、若い世代が出演して訴えかけることで響く世代がいたり、私たちにしかできない活動ができたのではないかと思います。たくさんお金をかけてつくる動画よりも、とても価値があるものができたと思います。このような機会に携わることができて本当に良かったです。

作成した動画の閲覧は各媒体から

しが CO₂ ネット
ゼロムーブメント
Instagram



ゼロナビしが



しがCO₂
ネットゼロ
ムーブメント

滋賀県総合企画部
CO₂ ネットゼロ推進課

Tel: 077-528-3494

E-mail: cg01@pref.shiga.lg.jp